

PET-CT 検査説明書及び同意書

1. PET-CT 検査について

PETとは陽電子断層撮影の略で体内に投与された放射性医薬品の分布を画像化する検査です。がんの検査にはFDGという放射性医薬品を使います。FDGはブドウ糖に似たお薬でフッ素18という放射性物質が含まれています。がん細胞は正常の細胞よりもたくさんのブドウ糖を消費します。そのため静脈注射されたFDGはがん細胞に多く集まります。PET装置を用いてFDGの分布を画像化することにより、がんの診断ができるわけです。PETとCTが一体化した装置がPET-CTです。FDGの分布をCTの画像と重ね合わせることで、FDGが集まった部位とその広がりを正確に診断できるようになります。

2. 安全性について

この検査において重篤な副作用の報告はありません。

3. 放射線被ばくについて

放射性物質を含むお薬を注射しますので、微量ですが放射線被ばくがあります。PET検査を1回受けるとおおよそ3.4mSv（ミリシーベルト）の被ばく線量になります。PET-CT検査ではX線CTによる10mSv程度の被ばくが加わります。PET-CT検査の被ばく線量では皮膚炎や脱毛などの急性の放射線障害が起きることはありません。微量の放射線被ばくでもがんになるリスクが上がるとされていますが、PET-CT検査によるがんの発生リスクは喫煙・食事・ウィルスや環境汚染物質など一般の生活環境における発がんリスクに比べはるかに小さいと見積もられています。

検査後もからだから微量の放射線が出ますので、検査当日は乳幼児や妊婦との密接な接触は避けてください。妊婦の方や妊娠の可能性のある方には検査を行いません。授乳中の方は、検査後24時間授乳を中止してください。

4. データの研究利用について

病歴や画像データなどの情報をプライバシーに十分配慮したうえで医学の発展のために利用する場合があります。情報の提供を望まれない場合、お申し出ください。その場合でも、いかなる不利益も受けません。また提供を承諾された場合でも後日、提供を望まないと判断されたときにはいつでも承諾を撤回できます。

5. 検査のキャンセルについて

予約日時にご来院出来ない場合は、前日の午後3時までに下記にご連絡ください。検査に用いるお薬は数時間で効力が消滅してしまうため、当日のキャンセルはできません。当日のキャンセルやご連絡がなく検査に来られなかった場合、お薬代（約40,000円）を請求させていただきます。

東近江市蒲生医療センター 院長殿

私は、PET-CT検査の説明を受け、その内容を理解した上で検査を受けることに同意します。

同意日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

本人・代理人（患者さんとの関係： _____ ） 氏名 _____